

# お宅のブロック塀等を点検しましょう

平成30年6月18日に大阪府北部を震源とした地震では、小学生等の通行者がブロック塀の下敷きになるなどの事故が発生しました。

それを受け、瑞穂市では通学路や歩道沿いにあるブロック塀の高さが1.2mを超える塀等を対象として、平成30年8月から現地での調査を行い、その結果に基づき簡易点検を実施いたしました。

簡易点検においては、著しく危険な箇所は確認できませんでしたが、「ブロック塀の点検のチェックポイント」(裏面参照)を活用した自己点検を行っていただくとともに、必要に応じて専門の業者等にご相談いただくことをお願いいたします。なお、ご不明点等がございましたら下記の連絡先までご相談ください。

すでに自己点検を実施し、必要な措置を行われている場合や、適切に管理されている場合はご了承ください。

## 簡易点検の内容

道路からの目視及び簡易計測により、以下の項目について点検しました。

### 【点検項目】

1. 塀の高さ
2. コンクリート基礎の有無
3. 傾き・ひび割れの有無

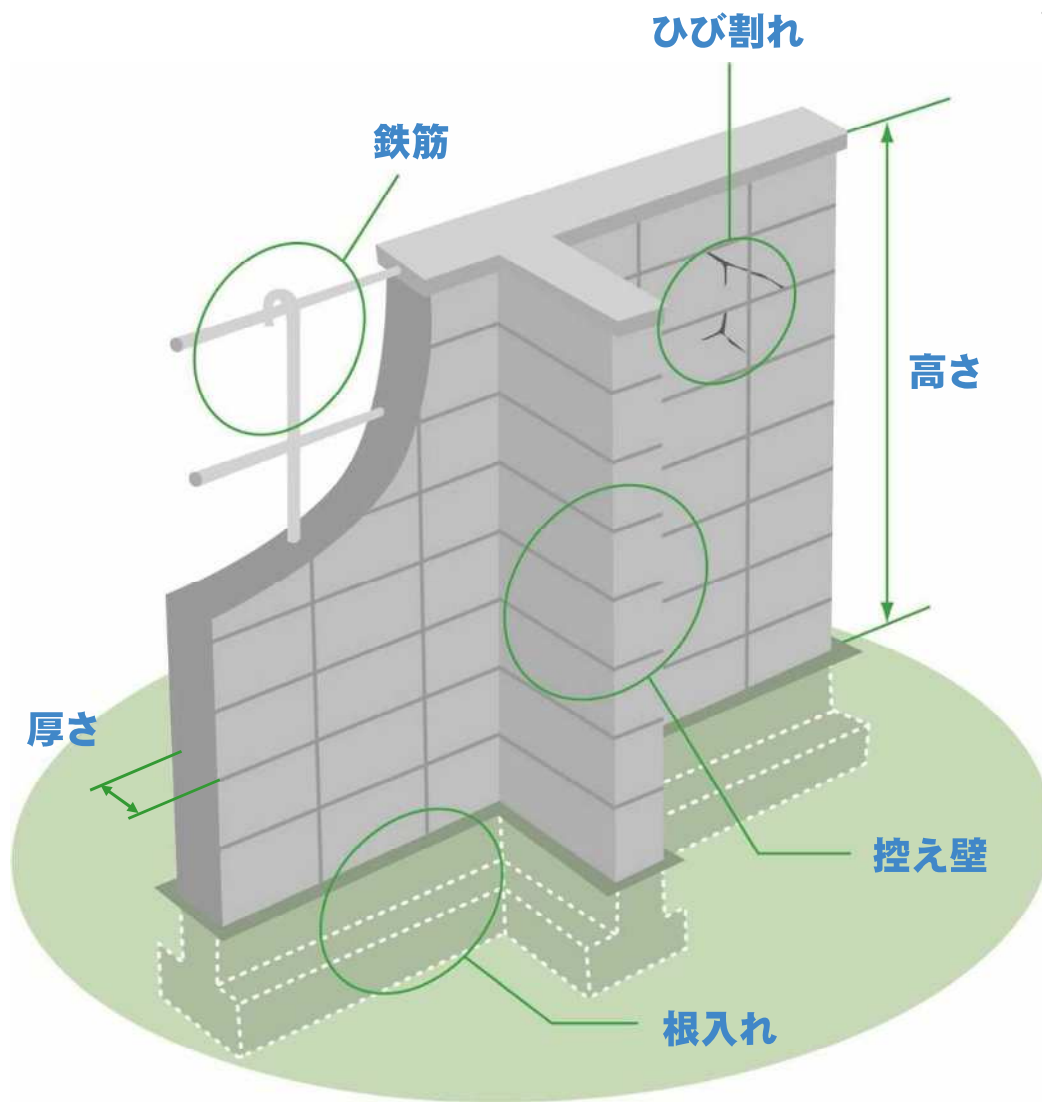
※正しく施工されていないブロック塀等や、老朽化したブロック塀等は、地震時に倒壊して、通行人に危害を及ぼすおそれがあるだけでなく、避難・救援活動の妨げになる可能性がありますので、日ごろから所有者の責任による適切な管理が必要です。

(全般的な問い合わせ) 瑞穂市 都市整備部 都市開発課

TEL 058-327-2101

(技術的な問い合わせ) 岐阜県 岐阜・西濃建築事務所

TEL 0584-73-1111



ブロック塀について、以下の項目を点検し、ひとつでも不適合があれば危険なので改善しましょう。

まず外観で1～5をチェックし、ひとつでも不適合がある場合や分からないことがあれば、専門家に相談しましょう。

- 1. 塀は高すぎないか
  - ・塀の高さは地盤から2.2m以下か。
- 2. 塀の厚さは十分か
  - ・塀の厚さは10cm以上か。(塀の高さが2m超2.2m以下の場合は15cm以上)
- 3. 控え壁はあるか。(塀の高さが1.2m超の場合)
  - ・塀の長さ3.4m以下ごとに、塀の高さの1/5以上突出した控え壁があるか。
- 4. 基礎があるか
  - ・コンクリートの基礎があるか。
- 5. 塀は健全か
  - ・塀に傾き、ひび割れはないか。

<専門家に相談しましょう>

- 6. 塀に鉄筋が入っているか
  - ・塀の中に直径9mm以上の鉄筋が、縦横とも 80cm間隔以下で配筋されており、縦筋は壁頂部および基礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれかぎ掛けされているか。
  - ・基礎の根入れ深さは30cm以上か。(塀の高さが1.2m超の場合)

組積造(れんが造、石造、鉄筋のないブロック造)の塀の場合

- 1. 塀の高さは地盤から1.2m以下か。
- 2. 塀の厚さは十分か。
- 3. 塀の長さ4m以下ごとに、塀の厚さの1.5倍以上突出した控え壁があるか。
- 4. 基礎があるか。
- 5. 塀に傾き、ひび割れはないか。

<専門家に相談しましょう>

- 6. 基礎の根入れ深さは20cm以上か。